

平成 21 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 ジー・ネットワークス  
代表者名 代表取締役社長 阿久津 貴史  
(コード番号 7474 東証第 2 部)  
問合せ先 管理本部長 小西 隆弘  
(TEL. 0836 - 83 - 5511)

## 特別損失の計上と業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 13 日の決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値との差異（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,965	百万円 63	百万円 61	百万円 △18	円 銭 △0.80
今回業績結果 (B)	3,763	△7	14	△38	△1.62
増減額 (B - A)	△202	△70	△47	△20	—
増減率 (%)	△5.1	—	△77.0	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	4,013	71	73	0	0.04

#### 差異の理由

第 2 四半期の業績は、客数増を図るためグランドメニューの改廃、好調業態への業態変更等を行ってまいりましたが、節約志向の高まりから、売上高は予想を下回る結果となりました。

損益面につきましては、人件費及び販売管理費のコントロールの徹底により経費の低減化に努めましたが、売上の落ち込みをカバーすることができず、営業利益及び経常利益は予想を下回る結果となりました。また、当第 2 四半期末以降の撤退決定店舗の店舗閉鎖損失引当金・減損損失等 21 百万円を特別損失に計上いたしました。

尚、今後は低価格業態へのニーズはますます強くなることが予測され、それに則した収益確保に努めるべく通期業績予想につきましては現時点において変更はございません。

#### 〈業績等の予想に関する注意事項〉

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、予想に内在する不確定要因や、今後の事業運営における状況の変化等により、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご了承ください。

以 上